

平成30年度「オリンピック・パラリンピック教育推進校」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【清須市立清洲東小学校】

1 実践テーマ	I 【オリンピック・パラリンピックを知ろう】						
2 実施対象者 (参加者・人数)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1年生 77名</td> <td style="width: 50%;">4年生 70名</td> </tr> <tr> <td>2年生 64名</td> <td>5年生 67名</td> </tr> <tr> <td>3年生 72名</td> <td>6年生 54名</td> </tr> </table>	1年生 77名	4年生 70名	2年生 64名	5年生 67名	3年生 72名	6年生 54名
1年生 77名	4年生 70名						
2年生 64名	5年生 67名						
3年生 72名	6年生 54名						
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 (1・2年学級活動・3～6年総合的な学習の時間) ② 行事名 (作品展) ③ その他 (講演会・体験活動) <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 () ② その他 () 						
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界最高峰の障害者スポーツの総合競技大会であるパラリンピックがオリンピックの後に行われていることを知る。また、その大会には多くの種目があり、日本人も多く参加していることを知る。 ・ オリンピック、パラリンピックに参加している国々を知る。 ・ オリンピック・パラリンピックにはどんな種目があるのかを知る。 ・ 障害がある人もない人も一緒にスポーツを楽しむことができるためには、どうしたらよいかを考える。 ・ 相手のことに想像力を働かせ、どうしたらよいかを工夫し、知恵を出す子を育てる。 ・ 2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックについての興味・関心を高める。 						
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 8月 オリンピック・パラリンピックについての調べ学習 (夏休みの課題 4～6年) <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加する国々 ・ 行われる種目やそのルール ・ 有名な選手や参加する日本の選手 ・ ワークシートの作成 (展示用) ② 9月・10月 まとめ学習 (総合的な学習の時間 3～6年) <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べたことをまとめる (八つ切り1枚程度) ・ 発表練習 ・ 障害をもった人に対して自分には何ができるかを考える時間 ③ 10月30日 (火) オリンピック・パラリンピック学習会 <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義 講師 愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科 教授 鳥居 昭久 先生 						

(ロンドンパラリンピック、リオデジャネイロパラリンピックなどの日本選手団トレーナーも務めた先生)

内容

パラリンピックに関する講義（歴史・由来等）

○ 体験実習

- ・ ブラインドマラソンの紹介
- ・ ブラインドマラソン体験
- ・ 学習内容のまとめ、自己の生き方を見つめる時間（障害をもった人に対して自分には何ができるか）

④ 11月上旬

オリンピック・パラリンピック学習会を終えて

- ・ どのような工夫をすれば、障害をもった人も一緒にスポーツを楽しむことができるかを考える
- ・ 学習内容のまとめ、自己の生き方を見つめる時間（障害をもった人に対して自分には何ができるか）

⑤ 11月17日（土） 作品展（今自分たちができることは何か）

オリンピック・パラリンピックコーナーの展示

<展示内容>

1・2年生…オリンピック・パラリンピックに参加する国の国旗作成（3～6年展示の周りに掲示）

3年…パラリンピックにはどんな種目があるのか、またどのようにルールが工夫されているか（グループ学習のまとめ）

4年…オリンピック・パラリンピックに参加する国のまとめ（一人1か国）

5年…オリンピック・パラリンピック学習会に参加した感想と、今後、体が不自由な人に出会ったらどうするか（感想文）

6年…パラリンピックの歴史・種目

2020東京オリンピック・パラリンピックをより良くするために自分にできること（グループ学習のまとめ）



3年生の取り組み



4年生の取り組み



5年生の取り組み



6年生の取り組み

<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 最初は1学年(4年生)を中心とした実施を予定していたが、全学年での取り組みに変更したこと。 • ブラインドマラソンを実際に体験することで、障害者の困り感を実感することができ、自分たちにできる工夫について深く考えることができたこと。 • 調べたり学んだりしたことを作品展で展示し、全校児童や保護者、地域の人で共有したこと。 • 朝礼の校長講話でもオリンピック・パラリンピック関連の話をするすることで、児童の関心・意欲が高まったこと。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 調べたことをグループでまとめる時間が予想以上にかかったこと。 • 作品展に向けて取組を進めたことはよかった。しかし、他の作品づくりと並行して進めたことで、オリンピック・パラリンピックに意欲を集中させられなかったこと。 • 作品展までは意欲を高められたが、作品展終了後にもモチベーションが継続できなかったこと。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 新聞やニュース等でオリンピック・パラリンピック関係の記事が出たら、児童に紹介するなどして、今後も興味関心を継続して持たせていく予定である。